

(1) 第4部会2か年作業の流れ

H17年度

①中央地区を取り巻く情勢の把握

②中央地区の魅力向上に向けた方策検討

○以下を中心に様々な意見が出された。

- ・東西方向を通り抜ける自然資源である『早湊川の魅力アップ』
- ・南北のセンター地区を結び、中央地区へのアプローチ動線となる『みなきたウォークの魅力アップ』
- ・早湊川と南北歩専道が交差する『十字空間とその周辺宅地のあり方』
- ・南北センター地区や周辺からのアクセスを確保する『歩行者ネットワークの連携』
- ・中央地区における『文化・芸術・市民活動のあり方』

③中央地区の魅力向上に向けたイメージ提案検討

1. 十字空間と一体となったイベントの開催
2. 早湊川プロムナードのイメージアップ計画
3. 早湊川桜堤の整備
4. 親水性のあるファミリーが集まれる広場に
5. 十字空間周辺宅地における“環境に配慮した土地活用”のモデル事業化
6. 親水広場周辺宅地におけるまちづくり誘導（屋上緑化・建物セットバック・広場に面した建築等）
7. 吾妻山の見晴らし地点から五山を眺める角度にある建物は、見晴らし地点より低くする規制・誘導
8. 吾妻山公園と歩専道が一体となった広場においては、道標を囲んで一服しながら、五山を眺められる場所とする一方で、イベント空間として活用
9. 桜並木と五山を橋上で鑑賞する場所としてのセンター橋の位置づけ
10. 歩行者空間に顔を見せた沿道商店街の形成
11. 早湊川を起点とした商店街のゾーン分け（朝市・アートスペース・オープンカフェ・屋台村等）
12. 屋上緑化にした仲見世商店街や屋上利用のできる商店街の形成
13. 北と南を結ぶ芸術空間づくり
14. 変電所・鉄道橋脚壁面の緑化の可能性
15. 中央地区区画道路や歩専道を活用したパレード行進の開催
16. 子育て地蔵イベント・縁日等の開催
17. 区民まつりにおける各種お祭り広場の整備（センター北シンボル広場・ネオクラシック階段・あづま山公園入口部・早湊川親水広場・南口シンボル広場・中央公園広場）
18. “青少年の居場所”スペースの確保
19. 土木事務所所在地を文化拠点（第2図書館等）としていくための総合的な検討
20. 中央地区周辺緑道から中央地区に至る明確なアクセスルート（散策ルート）の確立
21. つづき五山が眺められる眺望点の確立
22. 吾妻山～歴史博物館間の歩行者デッキ整備の可能性
23. 中央地区歩行者専用道路（港北ニュータウン14号線）の愛称設定（みなきたウォークの決定）

○中央地区の魅力向上に向けた取組分野

早湊川の魅力アップ

歩行者専用道路の魅力アップ

文化・芸術・市民活動活性化

周辺地区との関係強化

H18年度

④完成したみなきたウォークの現地視察

- 1) 現地視察および意見交換
- 2) 意見交換を反映したみなきたウォーク管理組織の立ち上げ

市民による管理組織「みなきたウォークハマロードサポーター」の立ち上げ

早湊川の水量確保等の環境に配慮した雨水浸透枡についての勉強会

⑤提案の実現に向けた組織づくりの検討